

⑮雨の不思議

もうすぐ梅雨だ。梅の実がなる頃に雨が降る。だから梅雨という。
ではどうして雨は降るのだろうか？空からどうして水が落ちてくるのだろうか？

⑯アカウミガメの不思議

アカウミガメは一生のうちにどれくらいの数の卵を産むのだろうか？そのうちどれくらいが親になるのかな？

⑰アマゾン川の本不思議

アマゾン川と言えば、南米の大河だ。そこには牛を食べるピラニアがいて、世界で最も長いヘビ、アナコンダがいて、世界最大の淡水魚、ピラルクもいる。この魅力あふれるアマゾン川を考えてみよう。

⑱アユの本不思議

アユは縄張り意識がとて強い。この行動を逆手にとった釣り方をアユの友釣りという。
この章ではアユについて考えてみよう。

⑲体温の本不思議

夏は暑い。冬は寒い。でも私たちの体温は36度だ。どのようにして調整しているのだろうか？
体の中では何が起きているのだろうか？

⑳カブトムシの本不思議

夏だ。何といっても夏は昆虫採集。やはり、獲りたいのはカブトムシやクワガタ。とにかく格好がいい。
カナブンにはない角がある。でも、どうしてカブトムシやクワガタムシのオスはには角があるのだろうか？

㉑ダムの本不思議

日本は山が多い国だ。雨も多いから川も多い。川をさかのぼっていくと突然コンクリートの壁が現れる。
ダムだ。ダムの上流には湖が存在する。どうしてこんなものを作るのだろうか？

㉒イモの本不思議

夏が終わり、秋が近づいてきた。夏の光をいっぱい受けたサツマイモの葉っぱは光合成をガンガンして
ブドウ糖をつくった。そして、それを根にたくわえた。それがサツマイモ。畑の土の中からサツマイモを掘り
出そう。大きいイモ、小さいイモ、変な形のイモ。これはうまいに違いない。

㉓うんちの本不思議

うんちをすると、どうしても見てしまう。大きいうんち、小さいうんち、硬いうんち、どろどろうんち。黄色い
うんち。茶色いうんち。そして、臭い。食べたものは臭くなかったのに。うんちの本不思議を探求しよう。

㉔キノコの本不思議

キノコは森の分解者。食物や動物の死骸などの有機物を分解し、無機物に戻す事で、物質循環
を維持する重要な役割を果たしている。この章ではキノコについて考えてみよう。

㉕紅葉の本不思議

紅葉の季節になると、赤くなるのはモミジやカエデ、黄色くなるのはイチョウ。
でも、どうして紅葉は起こるのだろうか？

㉖目の本不思議

私たちには色んな感覚がある。ものを見る視覚。音をさく聴覚。匂いをかぐ嗅覚。味がわかる味覚。
体にふれた事がわかる触覚。私たちに一番大切な感覚は何だろう？

㉗渡り鳥の本不思議

鳥には色々ある。カラスやスズメのようにいつもいる鳥。ツバメやカモのように季節になると姿を現す鳥。
季節になると姿を現す鳥は渡り鳥だ。でも、なぜ長い距離を移動するのだろうか？
いくら飛べるといっても大変なはずだ。その理由を考えてみよう。

㉘サケの本不思議

サケは川で生まれ、海で成長し、産卵の為にもう一度川に戻る。そんなサケについて考えてみよう。

㉙イルカの本不思議

イルカは水族館で見ることができる。海に行っても、簡単には見ることはできない。でも、世界にはイル
カが砂浜に寄ってきて、遊んでくれる海岸がある。イルカは私たちと遊びたがっているのかもしれない。

㉚雪の本不思議

寒い冬の日。朝、窓を開ける。真っ白だ。夜の間に雪がふって積もったのだ。雪を喜ぶ子供もいれば
困る大人もいる。この章では雪について考えてみよう。